

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 048	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
<b>要望問題名</b> 新規参入者向けの経済性指標の作成	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】新規就農者のうち新規参入者が県内で増加している。認定新規就農者の所管が市町村となり、就農計画の作成支援が県一律から分散され、普及部所への指導助言も以前より増してきている。しかし、就農計画を作成するために有益な「現実くん」は、経済性指標を元に作られており、品目ごとの生産規模が小さい多品目生産、直売などでは、使用する装備や生産効率が異なり、さらに有機農業では、収量や単価も異なるなど多様な新規参入者の計画作成にそのままでは活用しにくい。 【内容】大型直売所等、直売を主体とした生産者の経済性指標の作成・補正と、有機農業への対応（収量、販売価格等）および「現実くん」の改定 【対象地域】県内全域	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b> 多品目の場合あるいは有機農業の場合は指標より何%程度労働時間が上昇する等の、参考資料での対応でも良い。	
※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。	
<b>回答機関名</b>	農業技術センター
<b>担当部所</b>	企画経営部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) かながわの農業経営を安定強化するための調査研究	
<b>対応の内容等</b> 現在、野菜の直売を主とした経営類型を設定するための調査を実施しており、調査結果から主要な直売向け品目については、今後経済指標を作成する予定です。 有機農業については、栽培方法が確立されておらず標準となる栽培体系の設定が不可能であることから経済性標準指標の作成は困難ですので、事例等の紹介で対応します。 なお、現実くんは、装備や生産効率の違いを反映できる仕様になっていますので、事例等を参考に計画作成をお願いします。	
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>備考</b>	